

東京の街を守りたい!!

筑波大学附属小学校四年 高田 禮杜

多くの将来の夢は東京消防庁の消防士になることだ。ほくは小学校2年生から少年消防団に入っている。そこでAEDの使い方を学んだり、タオルでたんかを作ったり、ほくにでもできる人を助けるための訓練をしている。その訓練の間にもサイレンが鳴って、本物の消防士が出勤していくのをよく見ている。消防団の訓練の三時間くらいの間に四、五回サイレンが鳴ることもある。家のまわりでは火事を見たことはないけれど、同じ区の中でこんなに火災が発生しているなんてびっくりした。

火災になったらどうということが起こるのだろう。自分や家族、友達がけがをしたら大変だし、みんな無事でも家が燃えてしまったら暮らせない。自然災害は止めることができないけれど、火災はみんなが意識しきすれば防ぐことができる。だからほくは消防士になって自分が住む東京から火災をなくし

たいと思う。

東京消防庁の消防士になるためには、採用試験に受からなければならぬ。試験には1類(大学卒業程度)、2類(専門学校、短期大学卒業程度)、3類(高校卒業程度)の三種類がある。筆記試験のほかに、体力検査や面接もある。ほくは、たくさんのおしきを学んでから消防士になりたいので、大学までしっかり勉強をして、1類にチャレンジしたい。1類は一年に二回試験があるが、平成三十年には一回目が十一人に一人、二回目は二十五人に一人しか受からなかった難しい試験だ。試験のための予備校もあるらしい。人を助ける人になるためにはたくさん勉強もしなくてはならないし、体もきたえなければならぬ。だから、勉強も運動もがんばりたいと思う。

消防士は大変で勇気が必要な仕事だと思うけれど、たくさんのおしきを火災から守りたいし、火災が起きない街をつくることのできたらいいと思うので、ほくは消防士になりたい。

礼杜のライフプラン

将来なにになりたいか? 消防士
その理由: 人の命を且かけて生活を守る仕事をして世の中の役に立ちたいから

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること 努力するために、なに にお金がかかりそうか
2019年	9(小4)	消防団の活動に参加する 水泳などで体をきたえる 学校の勉強をがんばる 消防団の習い事の費用
2020年	10(小5)	
2021年	11(小6)	
2022年	12(中1)	運動部に 入る ↓ 中学入学
2023年	13(中2)	学校の勉強を がんばる ↓ じゅく代
2024年	14(中3)	班長 になる ↓ 高校進学のため 勉強をがんばる ↓ じゅく代
2025年	15(高1)	高校入学 ↓ 入学金 授業料
2026年	16(高2)	副隊長 になる ↓ 大学で何を勉強 するか考える ↓ じゅく代
2027年	17(高3)	隊長に なる ↓ 大学の進学のため 勉強をがんばる ↓ じゅく代
2028年	18(大1)	指導者として ボランティアする ↓ 大学入学 ↓ 入学金 授業料
2029年	19(大2)	東京消防庁の 採用試験の勉強 ↓ 予備校代
2030年	20(大3)	
2031年	21(大4)	7月試験(1回) 8月試験(2回) ↓
2032年	22	消防学校に入る
2033年	23	消防士として働く
2034年	24	消防士の経馬券をつむ
2045年	35	消防司令補になる